

令和3年度事業報告書

令和 3年4月 1日から

令和 4年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

事業活動

I スカイスポーツに関する人材育成及び啓発普及、並びに地域の発展に寄与する事業（公益目的事業1）

グライダー・モーターグライダーの運航は、4月13日（水）から11月6日（土）まで行った。なお、今年度もコロナウイルスの感染拡大の影響を受け、グライダー施設の使用ならびにグライダー運航を5月16日から6月20日まで休止したほか、感染拡大地域からの参加制限を行った。また、感染予防のため、本年度予定していた多くの事業を中止・縮小した。

運航実績は、以下のとおりであった。
（括弧内の増減数は、対前年比）

- ・ 運航日数：138日（10日増）
- ・ 運航割合（運航した日数/活動期間の日数）
：74%（14%増）
- ・ グライダーの飛行回数：1,904回（16回減）
- ・ グライダーの飛行時間：1,040時間（146時間増）
- ・ モーターグライダーの飛行回数：297回（179回増）
- ・ モーターグライダーの飛行時間：184時間
（88時間増）

1 スカイスポーツに関する人材の育成事業

1. 1 操縦指導事業

1. 1. 1 スクール・キャンプ事業

① グライダースクール

- ・ サマーレーニングコース

6回実施した。

第1回～第3回は中止した。

臨時にコースを1回追加した。

期間：7月5日～7月9日

延べ参加人数：230名（50名増）

飛行回数：654回（197回増）

飛行時間：387時間（120時間増）

- ・ ウィークリーコース

運航休止期間を除き、シーズン中の平日に随時実施した。

飛行日数：50日（3日減）

飛行回数：266回（62回増）

飛行時間：155時間（30時間増）

- ・ ウィークエンドコース

運航休止期間を除き、シーズン中の土日祝日に実施した。

飛行日数：56日（3日増）

飛行回数：1,079回（174回増）

飛行時間：639時間（151時間増）

② グライダーキャンプの受入

- ・ 社会人の合宿を受け入れた。

7月26日（月）～7月30日（金）

参加人数：のべ28名（6人増）

飛行回数：72回（35回増）

飛行時間：46時間（20時間増）

1. 1. 2 指導者・選手養成事業

① アシスタントインストラクター制度

クラブ員の対象者はいなかったが、スタッフインストラクターを1名養成した。

1. 1. 3 審査資格事業

① 特定操縦技能審査

特定操縦技能審査を実施した。

審査件数：27件

② 各種受験に関する指導

・航空従事者技能証明の実地試験に関する指導を行うとともに、実地試験を受け入れた。

5名が実地試験を受験、合格した。(3名増)

受験者：事業用操縦士(飛)1名、
操縦教育証明(滑)1名、自家用(上滑)3名

受験月日：5月12日、10月11日～12日

・日本滑空記章に関する指導及び試験を実施した。
(3件増)

A章 2件

B章 3件

C章 3件

銅章 5件

・国際滑空記章に関する指導及び試験を実施した。
(2件増)

銀章5時間課目 1件

金章高度課目 1件

1. 2 整備支援事業

たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援を行った。

自社機を含む常駐機：27機(1機減)

外来機/出張整備：6機(1機増)

また、無線局登録検査等事業者として、自社機を含む常駐機の航空機局無線機検査業務を実施した。

検査件数：21件(1件減)

1. 3 講習会事業

1. 3. 1 各種講習会の実施

① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催

・北海道滑空協会が開催したEMFT実技講習会を主管した。

テーマ：異常姿勢からの回復訓練

主催：北海道滑空協会

協力：北海道スカイスポーツ協会

実施日：8月21日～22日(2日間)

講師：櫻井玲子(日本グライダークラブ)

参加人数：6名

飛行回数：6回

講習内容：スピンをはじめとした異常姿勢からの回復操作の実技を行った。

② スカイスportsを对象とした各種講習会への講師派遣

・航空安全講習会に講師を派遣した。

テーマ：グライダー事故を読み解く

主催：(公社)日本滑空協会

後援：国土交通省航空局

実施日：12月11日(土)、2月27日(日)

実施場所：オンライン(東京都港区航空会館)

派遣講師：日口裕二

1. 4 競技会の開催・支援事業

1. 4. 1 滝川グライダーX'Cキャンプ2021の実施

クロスカントリーキャンプを実施し、参加者に対し、グライダーによるクロスカントリーフライトの理論及び実践の場を提供した。

なお、実施にあたり、(一財)石狩川振興財団支援助成事業助成金を活用した。

開催期間：9月4日(土)～9月20日(月・祝)

参加人数：延べ91名

1. 5 団体連携事業

1. 5. 1 国際交流事業の推進

① 操縦教員の派遣

COVID-19の影響のため、中止した。

② 曳航パイロットの招聘

予定していたオーストラリアからの曳航パイロットが、オーストラリア国から出入国できなくなったため、中止した。

1. 5. 2 国内滑空団体との連携

① 最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容を心掛け、ホームページ、フェイスブックや掲示板を活用した情報発信を行った。

② 国内外のグライダークラブとの連携

・今年度は、全国グライダークラブミーティングは開催されなかった。

・臨時開催された JSA 安全委員会にオンライン出席した。

開催日：10月21日（木）20:00～22:00

参加者：日口 裕二

2 啓発普及事業

2. 1 体験・青少年育成事業

2. 1. 1 児童・生徒を対象とした体験学習の受入

① 滝川市内小学校および新十津川小の高学年の内、1学年について、軽飛行機による体験搭乗を実施し、空から眺める郷土学習の場を提供した。

実施期間：6月25日（金）～10月26日（火）

受入小学校数：6校（6校増）

体験搭乗者数：240名（240名増） ※前年は中止

② 市内外の学校から児童・生徒の施設見学を受け入れた。

受入小学校数：3校（前年同数）

見学者数：97名（4名増）

2. 1. 2 こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催
感染症予防のため、グライダー体験搭乗のみ、対象人数を20名に制限して実施した。また、参加人数分散のため、こどもの日以外の参加も可能とした。

体験者数：16名（16名増） ※前年は中止

2. 1. 3 青少年会員の活動

今年度参加した青少年会員は、5名（前年同数）であった。

2. 1. 4 ユース会員の支援

大学生および大学を卒業した後も、社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を、ユース会員として登録した。

ユース会員数：43名（4名増）

2. 1. 5 グライダー等による体験飛行会の実施

① 滝川市民を対象とした体験搭乗会は、COVID-19の影響により実施しなかった。

② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。

実施期間：4月17日（土）～11月6日（土）

搭乗者数：326名（76名減）

③ 滝川市ふるさと納税への協力

滝川市ふるさと納税の返礼品として、グライダー体験飛行券を提供し、寄付された方々に搭乗券を送付した。

発行数：1件（24件減）

体験者数：4名（3名増）

2. 1. 6 「そらぷちキッズキャンプ」の支援
(公財)そらぷちキッズキャンプを支援するため、キャンプが実施している「そらぷち野菜ボックス・チャリティ販売」のおたのしみ品の一つとして、体験搭乗券を提供した。

2. 2 文化振興事業

2. 2. 1 古典グライダー活用事業(ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト)
今年度予定していたイベント等が中止となったため、事業は実施しなかった。

3 地域の発展に寄与する事業

3. 1 イベント開催・支援事業

3. 1. 1 イベントの開催

① サマースカイフェスタ2021の開催
COVID-19の影響により、中止した。
代替イベントとして、北門信用金庫まちづくり基金の支援を受け、オンラインイベントを開催した。
タイトル：たきかわバーチャルスカイパーク
開催期間：9月28日～1月31日
ページビュー：1,569(閲覧者数851人)

3. 1. 2 航空祭の支援

道内各地で予定されていた航空に係るイベントは、中止された。

3. 2 観光客受け入れ事業

①インターネットを經由して、旅行会社から75名の体験搭乗の依頼があった(119名減)。海外からの観光客はいなかった。
②COVID-19の影響により、ATWSの体験プログラムは実施されなかった。

3. 3 スカイパーク施設の管理・運営事業

滝川市から滝川市航空科学センターの指定管理者として指定を受けて、施設運営及び事業を展開した。

3. 4 情報提供事業

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行った。

II 利用者への施設提供事業(その他事業1)

1 利用者への施設提供

①たきかわスカイパーク利用者への施設提供を実施した。

宿泊施設の利用状況

・利用者数：延べ449名(27名減)

また、ポストコロナを見据え、ワーケーションの受け入れ体制を整備するために、北海道観光振興機構の支援を受けて宿泊施設の無線ネットワークを整備した。

②来場者への飲食物の提供を行った。

③スカイスポーツ関連物品の販売を行った。

航空安全

スタッフ、会員及び飛行関係者の安全意識を喚起して、危険に対しての的確な予見と、基本的で確実な危険回避動作を実施し、航空無事故を達成した。

無事故日数： 2,497日(令和4年3月31日)

管理部門

1 会員

体験飛行や施設見学者等を通じて、個人会員の入会勧誘を積極的に進めた。
 新入会員数：7名（前年比3名減）
 ユース会員が大幅に増えた。コロナによる会員減の影響は限定的だった。

会員の入退会状況

令和4年3月31日現在

会員種別		H29	H30	R1	R2	R3
正会員	個人	114 8 15	113 6 7	112 9 10	108 10 14	107 7 8
	法人	17 0 0	17 0 0	18 1 0	17 0 1	16 0 1
特別会員	個人	3 0 0	3 0 0	3 0 0	2 0 1	3 1 0
	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		143	136	136	129	128

小数字 左：入会者数、右：退会者数

名誉会員	1	1	1	1	1	
賛助会員	個人	20	25	25	32	32
	法人	3	3	2	1	1
ユース会員	34	39	44	29	43	
青少年会員	3	6	6	8	5	
総計	204	210	215	200	210	

2 理事会・総会等

・第1回理事会

開催月日：令和3年4月20日（火）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：新規加入会員及び退会者について

決議事項：令和2年度事業報告書及び付属明細書の承認について、令和2年度財務諸表及び関連書類の承認について、理事の選任（案）について、特別会員の推薦（案）について

出席等：出席理事7名（議決に必要な理事の数4名）

出席監事2名（議決に必要な監事の数1名）

・第2回理事会

開催月日：令和3年5月25日（火）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：理事の職務の執行状況について

決議事項：新規加入会員及び退会者について

出席等：出席理事7名（議決に必要な理事の数4名）

出席監事1名（議決に必要な監事の数1名）

・定時総会

開催月日：令和3年5月25日（火）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：令和2年度事業報告書及び付属明細書について、令和3年度事業計画及び収支予算について

決議事項：令和2年度財務諸表および関連書類の承認について、役員を選任について、特別会員の推薦について

出席等：定足数65、出席会員議決数79、出席理事7名、出席監事1名

・臨時理事会

開催月日：令和3年5月25日（火）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項：会長、副会長、常務理事の選任について

出席等：出席理事8名（議決に必要な理事の数5名）

出席監事1名（議決に必要な監事の数1名）

・第3回理事会

開催月日：令和3年11月24日（水）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：令和3年度事業の執行状況について、令和3年度予算の執行状況について、令和3年度第2回理事会以降の職務の執行状況について

決議事項：新規加入会員及び退会者について

出席等：出席理事8名（議決に必要な理事の数5名）

出席監事2名（議決に必要な監事の数1名）

・第4回理事会

開催月日：令和4年3月17日（木）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：新規加入会員及び退会者について、令和3年度決算見込について

決議事項：令和4年度事業計画書及び収支予算書について、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」について

出席等：出席理事8名（議決に必要な理事の数5名）

出席監事2名（議決に必要な監事の数1名）

2 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページ等を活用して、当協会の運営に関する情報公開を進めた。

3 業務執行体制の整備と強化

理事1名を増員し、理事8名、監事2名の体制で業務管理体制を充実させるとともに、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

その他

① 「グライダーの街たきかわ」をPRするために、JR滝川駅駅前広場に、グライダー（ICA IS-28B2）を展示した。

展示期間：4月16日（金）～11月2日（金）

② COVID-19感染拡大に伴い、施設の閉鎖、グライダー運航の休止、感染拡大地域からの参加制限等の措置をとった。さらに、愛好者や一般市民の来場者が減少したことから、例年より飛行回数が減少し、収入が大きく落ち込んだ。これを補うため、行政の支援金等を得るとともに、経費節減に努めた。

③ COVID-19感染拡大予防のため、以下のような対策を講じた。

・職員のマスク着用と来場者へのマスク着用依頼

・来場者に体温測定と健康確認の依頼

・館内入場時に来場者に手指消毒の依頼

・館内およびグライダーの定期的な消毒

・定期的な換気

・リリエンタールのテーブル・椅子を少なくし、使用者の間隔を確保

・来場者に北海道コロナ通知システムへの登録依頼

・愛好者に対し、健康管理チェックシートの提出と体温

結果、感染者を出すことなく事業を実施できた。

※令和3年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。